

平成 27 年度 (2015 年度)

# 公益財団法人蘭島文化振興財団

## 事業計画

### 1 事業運営の基本方針

地域文化の振興を目指した諸事業を行うとともに、地域文化に関する教育普及活動の推進を図り、もって呉市民の文化振興と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

### 2 定款に定める事業

- (1) 蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業
- (2) 昆虫の家における自然環境保全啓発事業
- (3) 松濤園における芸術文化振興事業
- (4) 白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 3 事業の詳細

公益目的事業 1 「蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業」

#### (1) 展覧会事業

##### 【特別展】

蘭島閣美術館	春季特別展 「秋野不矩展」 京都の日本画壇を中心に活躍した日本画家・秋野不矩の画業を紹介する。郷里・浜松市や活躍の場となった京都に残る不矩の代表的な作品を広く集めてその画業を回顧し、大胆な画面構成と素朴で鮮やかな色彩に満ちた不矩の作品の魅力を味わってもらう。また、不矩とともに活躍したゆかりの作家たちにも触れることで、当館のコレクションの新たな一面も紹介する。
--------	--

〃	<p>秋季特別展 「鬨光とゆかりの画家たち」</p> <p>本展では、広島を代表する洋画家鬨光の作品を中心に、交流をもった作家たちの作品を紹介する。戦禍による非業の画家としても知られる鬨光の画業を辿るとともに、「新人画会」で活動をともにした作家たち、さらに広島で交友を持った作家たちにも範囲を拡げて関係を描く。戦後70年目を迎えるこの年に、戦時下において鬨光たち若い世代の画家が求めたそれぞれの芸術を改めて味わってもらおう。</p>
---	--

### 【企画展】

蘭島閣美術館	「日本画名品撰 日本美術院の作家たち」、「描かれた船と港」、「日展の作家たち 至宝のコレクション」、「雪白の美」、「広島とゆかりの作家たち」
蘭島閣美術館 別館	「寺内萬治郎と同時代の作家たち」、「寺内萬治郎の油彩画を中心に」、「寺内萬治郎の歩み（1）」、「寺内萬治郎の歩み（2）」
三之瀬御本陣 芸術文化館	「岡崎勇次展／須田国太郎の静物画」、「小林和作展／須田国太郎の草花」、「海辺の風景／須田国太郎の山間風景」、「須田国太郎の足跡をたどる」、「中川一政とゆかりのあった作家たち／須田国太郎と能」、「南薫造と新延輝雄／須田国太郎の鳥と動物」

## （2）教育普及事業

### 【講演会・教室等】

海や山などに囲まれ、恵まれた自然環境を生かし、市民が気軽に学習、制作活動に参加できるワークショップ・講座等を開催する。

### 【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、美術作品に親しむ場を提供することで、美術教育の普及に努めると共に、伝統文化の継承や、児童・生徒の芸術文化に対する意識の向上を図って行く。



## 公益目的事業2「昆虫の家における自然環境保全啓発事業」

### (1) 展覧会事業：

地域の自然環境保全や生物保護への意識向上に資するため、昆虫標本や、生き物をモチーフとした美術品等の鑑賞機会を提供する。

### (2) 教育普及事業

#### 【講演会・教室等】

「ふれあい海岸教室」及び「ふれあい昆虫教室」  
市民が気軽に学習、制作活動に参加できる各種講演会や講座を開催する。特に、下蒲刈島の豊かな自然に触れ、身近な生物である昆虫あるいは貝や海藻の観察や採集を通して、生命の尊さや自然環境保護の重要性について学び、豊かな感性を養って行く。

#### 【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、環境教育の普及に努めると共に、児童・生徒の環境保全活動に対する支援を行って行く。

## 公益目的事業3「松濤園における芸術文化振興事業」

### (1) 展覧会事業

松濤園	朝鮮通信使資料館：「朝鮮通信使って何?」、「朝鮮通信使の舟」、「朝鮮通信使の旅路」、「もたらされたもの－朝鮮通信使と日本－」、「画員－通信使の中の画家たち－」 陶磁器館：「古伊万里って何?」、「□（しかく）い器－伊万里の角皿・角瓶－」、「花・華－伊万里に見る花の文様－」、「煌めきの伊万里－金襴手－」、「備前－古備前と現代－／古伊万里所蔵品展」
-----	---

### (2) 教育普及事業

#### 【講演会・教室等】

市民や子供たちが気軽に学習、制作活動に参加できる各種講演会や講座を開催する。

### 【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、児童や生徒に対する文化の向上に努めると共に、地域が培ってきた伝統文化の継承を進めて行く。

### 【地域に息づく歴史と文化を普及啓発する事業】

「朝鮮通信使再現行列」(平成 27 年 10 月 18 日)

地域の歴史の掘りおこしと日韓友好への一助を目的に、江戸時代の善隣友好使節団「朝鮮通信使」行列の再現を行う。行列の参加者は広く地域住民に求め、地域振興の一環として実施する。

「秋のお茶会」(11 月上旬)と「春の梅見茶会」(2 月中旬)

松濤園の日本建築と瀬戸内の自然を借景に取り込んだ日本庭園を活用した茶会を催し、茶道という日本の伝統文化の継承に努め、併せて地域文化の向上に努めて行く。

### (3) 収蔵品等管理、調査・研究事業

上記の展覧会事業、教育普及事業を企画するため、収蔵品及び寄託品等の管理業務と、地域の歴史と美術に関する調査・研究活動を行い、より質の高い事業の推進に役立てて行く。

## 公益目的事業 4 「白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業」

### (1) 展覧会事業

広く芸術文化(主に体験型の日本文化)の振興に資するため、美術品や建築等の展示を行うと共に、地域に根付く日本文化の体験機会を提供して行く。

### (2) 教育普及事業

#### 【講演会・教室等】

松籟亭	「茶道教室」(毎月 2 回) 武家茶である上田宗箇流による茶道教室を開催し、広島県の伝統文化の継承を図る。
-----	--

### 【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、体験学習の普及に努める共に、児童・生徒の日本の伝統文化に対する理解を深めて行く。